

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第4号 令和8年7月1日(水)
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』
～自己指導能力とWell-beingの涵養～
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)

生徒数 1年125名 2年118名 3年128名 計371名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

◇『人定勝天』◇

6月1日(月)からの3年生修学旅行は、台風6号接近に伴い大幅な予定変更での実施となりました。生徒の心情は痛いほどわかるつもりです。しかし、台風の進路やその影響を予見することは不可能でした。だから、「何が起こるか」ではなく、「何が起きてても守れるか」をすべてに優先し、最悪を想定するという判断にいたりしました。また、130名を超える団体の新幹線の振り替えや、東京駅からのバスの再手配は容易くなく、判断には時間制約が伴い、唐突なご連絡だったかもしれません。しかし、お迎えにおいでいただいた保護者の方から、「残念だけど、仕方ないですね。」「安全に帰していただいてありがとうございます。」など、静かで温かく、そして強い気持ちを届けていただきました。ご理解とご支援をいただいたことに心より感謝申し上げます。この心が、西中を支える見えない根なのだと感じました。そして、何よりも心を揺さぶられた瞬間。東京駅から戻るバス中で、帰校してからの昼の校内放送で、3年生が、「1泊少なくなったけど、その分濃い思い出ができた。」とスピーチしてくれたこと。多くの3年生に同じ思いがあると耳にしています。そんな心持ちでいる3年生を誇りに思いますし、そんな中学生に育て上げた保護者の方に、心から尊敬の念を抱きます。

予測することが困難で不確かな時代を、自分らしく未来を切り拓いていくためには、起こった出来事を「どう捉えるか」が、次の一歩を変え、その一歩一歩が、生き方そのものになっていくのだと思います。



とてものが渴いているあなたは、水が半分入っているコップしか手元にないとき、どう思いますか？

A「半分しかないのか…」 B「やった、半分あった!」

「半分しかない」と思うのか。「半分もある」と感じるのか。どちらが正しい、という問題ではありません。その人が現実をどう見つめているかという「心の姿勢」です。修学旅行で訪れた京都には、心の姿勢についてヒントになり得る所があります。



世界遺産登録の枯山水で有名な龍安寺。静寂の中に佇む方丈庭園の「つくばい(蹲踞)」に、1つの言葉が隠されています。「吾唯足知」。中央の「口」を共有することで、「吾」「唯」「足」「知」の文字が浮かび上がるように図案化されています。「吾唯足知」(「われただ足るを知る」とは、古代中国思想家の老子の言葉に由来し、「満足することを知っている者は、たとえ貧しくても精神的には豊かで幸福である」という意味。

満たされているかどうかは、外側にあるのではなく、内側にあるのだと、静かに語りかけています。老子は続けます。「足るを知る者は富み、強(つと)めて行う者は志有り」。満足することを知る者は豊かであり、その上で、なお努力を続ける者にこそ志は宿る。つまり、受け入れることと、あきらめることは違う。満ち足りることと、止まることは違う。しなやかに受け止め、しっかりと前に進む。その力こそが、これから生きるための力だと。

これは、西中生がWell-beingを享受しながら人生を切り拓いていくために、涵養を目指している「非認知能力」と深く重なります。

- ・ありのままの自分を受け入れる力:自己肯定感
- ・前向きに考え方を切り替えられる心のしなやかさ:レジリエンス
- ・変化を受け入れ、感情を調整する力:自制心

いずれもが、目には見えないけれど、確かに人生の質を左右する力。

6月10日(水)、11日(木)で実施した第1回定期テストは、学習範囲内での見える力「認知能力」について、現在地を確認する機会でした。これから何に挑戦するかを考える1つの目安ですが、見えない力が見える結果を支え、人生を形づくっていくのだと思います。見えない学力と言われる「非認知能力」を育むことで、学力向上と生涯にわたるWell-beingの獲得につなげてほしいと考えます。

今回お示しいただいた保護者のみなさまの共感力は、西中と西中生への推進力であり、3年生のレジリエンス溢れる前向きな言葉、そのどちらも「非認知能力」だと感嘆します。夏休みは西中生一人一人が、どんな自分になりたいのか、どんな力を伸ばしたいのかに向き合う時間にしてほしいと願います。その問いに向き合うために、三者面談・保護者面談へのご協力をお願い申し上げます。



☆夏休み好学チャレンジ教室の開催☆

夏季休業中の8月26日(水)と27日(木)に、これまでの学習の復習や定期テストに向けた学習の質問を受けるために、「好学チャレンジ教室」を開催します。

7月21(火)から始まる保護者面談・三者面談においても、各学級担任からご案内いたします。

7月・9月の主な予定

1日	水		13日	月	定期テスト範囲発表 一斉下校 14:45
2日	木	全校委員会	14日	火	情報モラル教室
3日	金		15日	水	給食最終日
6日	月	校内研修 一斉下校 14:45	16日	木	大掃除 午前日課 弁当持参(部活動実施の場合) 部活なし生徒 最終下校 12:40 部活あり生徒 最終下校 15:00
7日	火		17日	金	終業式 午前日課 部活なし生徒 最終下校 10:05 部活あり生徒 最終下校 11:30
8日	水		20日	月	海の日
9日	木	AM 北総教育事務所所長訪問	21日	火	三者面談・保護者面談～7/31まで
10日	金				
スクールカウンセラーの出勤日は木曜日です。7月は2日(木)と9日(木)と16日(木)です。					
9月1日	火	始業式 避難訓練 午前日課 一斉下校 12:00	9月14日	月	職員会議 一斉下校 14:45
9月2日	水	給食開始	9月18日	金	3年生実力テスト
9月9日	水	第2回定期テスト～10日(木) 一斉下校 12:40	9月28日	月	生徒会役員選挙
スクールカウンセラーの出勤日は、木曜日です。9月は3日(木)と10日(木)と17日(木)と24日(木)です。					

夏季休業中の空直期間の緊急連絡先について

【夏季休業中の学校の電話対応時間】 8:00～16:00(土日祝日を除く)

【夏季休業中の空直期間】 8月10日(月)、12日(水)～14日(金)

上記空直期間に学校に連絡が必要な場合は、下記の連絡先をお願いします。

○佐倉市教育委員会学務課 484-6219 (受付時間 9:00～17:00)

受付時間以外に、緊急性を要する場合(事件・事故・命に関わるもの)は、

○佐倉市役所代表電話 484-1111 へ連絡するようにお願いします。

その際、①学校名 ②学年・名前 ③電話番号 を必ず伝えてください。

あくまでも緊急を要する場合にのみ、連絡するようにお願いします。

(例年、宿題の確認や忘れ物に関する問い合わせがあるそうです)

○その他、生徒の生命・安全に関わる緊急事態の場合は、曜日や時間を問わず
非常災害用携帯電話(090-8800-7327)へお願いします。

連絡



学習指導部より

【定期テストを終えて、夏休みの学習】

第1回定期テストを終えて

第1回定期テストが終わり、テスト結果の個票を6月24日に配付いたしました。結果は各教科の理解度を把握する大切な指標となります。ぜひお子さまと一緒にご覧いただき、これまでの学習へ向かう姿勢や努力を振り返る機会としていただければと思います。

テストの結果に一喜一憂することもあります。今回のテストを通じて得た学びや成長に目を向けることが何より重要です。思うような結果でなかった場合でも、どこでつまづいたのかを見つめ、次につなげることで確かな力となります。

一方で、よい結果を得られた場合には、努力の積み重ねを認め、自信へとつなげてほしいです。

成功や失敗にかかわらず、努力の過程を認め励ますことは、お子さまの自己肯定感を高め、学習への意欲を育てます。次への具体的な目標を持ち、粘り強く学習に取り組むと良いと思います。

夏休みの学習

(1) 探究的な学習

自由選択の課題ではありますが、国語科で読書感想文、社会科では身近な地域についてのレポート、理科では自由研究について、7月の教科の授業で紹介をしています。これらの課題は、単に知識をまとめるだけでなく、自ら課題を見つけ、調べ、考え、表現する力を育むものです。自分の興味・関心に基づいてテーマを選び、じっくり取り組むことができるのは、時間にゆとりのある夏休みならではの学習です。探究的な学習に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢や思考力・表現力の向上が期待できます。また、完成までの過程で得られる達成感は、さらなる学習意欲の向上にもつながります。「夏休みにしかできない学び」に、挑戦する背中を押してほしいです。

(2) 個に応じた学習

1学期の学習状況に応じて、基礎の定着を図る補充的な学習や、より高度な内容に挑戦する発展的な学習に取り組むことも大切です。夏休みは、自分のペースで苦手分野をじっくり克服したり、得意分野をさらに伸ばしたりできる貴重な機会です。

また、実用英語技能検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定などの資格取得に向けた学習は、目標を明確にし、計画的に取り組む習慣を身に付ける良い機会となります。明確な目標に向けて努力する経験は、自信の醸成や学習意欲の向上につながり、日々の学習にも良い影響を与えます。

(3) 好学チャレンジ教室

夏季休業中の8月26日(水)・27日(木)10:15~12:00に、好学チャレンジ教室を開催いたします。

1学期の学習の振り返りや第2回定期テストに向けた補充的な学習、学習のつまづきを解消するための学習支援を行う予定です。

申し込みについては案内文書を配付しておりますのでご確認の上、7月15日(火)までにお申し込みをお願いします。

生徒指導部より

【7月・8月の生活目標「言葉遣いに気をつけよう」】

新年度が始まって数か月が経ち、子どもたちは学校生活にもすっかり慣れてきました。一方で、気の緩みやテスト後の開放感から、友達との関わりの中で言葉による行き違いやトラブルが起こりやすい時期でもあります。相手の気持ちを考えながら、自分の言葉がどのように受け取られるかを意識し、温かい言葉遣いを心がけてほしいと思います。

「1学期の振り返りと夏休みの過ごし方」

1学期も残りわずかとなりました。生徒たちは新しい環境の中でさまざまな経験を積み重ねてきました。学習や部活動、学校行事などを通して成長したこともあれば、自分自身の課題に気付いたこともあったと思います。7月は1学期のまとめの時期であるとともに、夏休みに向けた準備の時期でもあります。

夏休みは、普段の学校生活ではなかなかできない体験ができる貴重な機会です。家族との時間を過ごしたり、地域の活動に参加したり、自分の興味や関心のあることに挑戦したりする中で、生徒たちは大きく成長します。その一方で、自由な時間が増えることで生活リズムが乱れたり、さまざまなトラブルに巻き込まれたりする危険性もあります。

特に近年は、スマートフォンやSNSに関するトラブルが増えています。何気なく投稿した内容が相手を傷つけてしまったり、個人情報の流出につながったりすることがあります。また、オンラインゲームやSNSを通じて見知らぬ人とながらることで、思わぬ被害に遭うケースも報告されています。インターネット上であっても、相手を思いやる気持ちや責任ある行動が大切であることを、改めて確認してほしいと思います。

保護者の皆様におかれましては、夏休みを迎える前に、お子様と1学期を振り返る時間を設けていただければ幸いです。できたことや頑張ったことを認めながら、夏休みに挑戦したいことや生活の目標について話し合ってみてほしいです。また、スマートフォンやSNSの利用時間、外出時の約束、帰宅時間などについても、ご家庭でルールを確認し、継続的に見守っていただきたいと思います。

思春期の中学生は、自立に向けて成長する一方で、悩みや不安を一人で抱え込みやすい時期でもあります。日頃の何気ない会話の中で、お子様の様子や気持ちの変化に目を向けていただければと思います。困ったことや心配なことがありましたら、夏休みの保護者面談・三者面談をご活用ください。

夏休みが、生徒一人一人にとって安全で充実したものとなり、2学期に元気な姿で再会できることを願っています。

生徒が自主的に活動する姿が様々な場面で見られます (*^-へ^-*)

2026.05.28
生徒総会



2026.06.22
校内職業人に聞く

